

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	副主幹	主査	担当	担当							文書取扱主任		

第 22 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成 25 年 3 月 5 日 (火曜日)	開会 13 時 50 分	閉会 14 時 15 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	山口、山本、坂井、小野、三上、窪之内	事務局	中嶋事務局長
	委員外～木下、井上		菊井次長
欠席委員			原田主事
説明員	別紙のとおり	議件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 中島町のメガソーラー誘致について		
	(2) 滝川駅前広场景観検討市民会議の設置について		
	2. その他について		
	経済部より、スマイルビルについて 2 月 22 日に駅前再開発ビル株式会社の関係者が来庁した際に話し合われた内容について報告があり、質疑を行った。		
	3. 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することに決定した。		
上記記載のとおり相違ない。 経済建設常任委員長 山口 清悦 ㊦			

平成25年3月4日

滝川市議会議長 水口典一様

滝川市長 前田康吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成25年2月25日付け滝議第131号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしく申し上げます。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしく申し上げます。

記

滝川市長の委任を受けた者

副市長	鈴木光一
経済部長	五十嵐千夏雄
経済部次長	居林俊男
経済部商業観光課長	浦川学央
経済部商業観光課駅周辺整備室長	加地幸治
経済部商業観光課駅周辺整備室主査	後呂典輝
経済部産業振興課副主幹	諏佐孝
経済部産業振興課主事	三戸部達
建設部長	大平正一
建設部土木課都市計画室長	千葉豊
建設部土木課都市計画室主査	岡崎卓哉
建設部土木課都市計画室主任技師	東忠司

(総務部総務課総務グループ)

第22回 経済建設常任委員会

H25. 3. 5 (火) 本会議終了後
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶 (委員動静)

1. 所管からの報告事項について

《経済部》

(1) 中島町のメガソーラー誘致について

(資料) 産業振興課

《建設部》

(2) 滝川駅前広場景観検討市民会議の設置について

(資料) 都市計画室

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第22回 経済建設常任委員会

H25. 3. 5 (火)本会議終了後
第一委員会室

開 会 13:50

委員 長 それでは、ただいまより第22回経済建設常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員 長 まず、委員動静ですが、委員は全員出席、委員外議員として木下議員と井上議員の出席を認めます。傍聴として、清水議員並びに毎日新聞の出席を許可いたします。

1. 所管からの報告事項について

委員 長 それでは、所管からの報告事項について、(1)、中島町のメガソーラー誘致について説明を求めます。

(1) 中島町のメガソーラー誘致について

居林部次長 (別紙資料に基づき説明する。)

千葉室長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員 長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員 長 それでは、報告済みといたします。

(2)、滝川駅前広场景観検討市民会議の設置について説明を求めます。

(2) 滝川駅前広场景観検討市民会議の設置について

千葉室長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員 長 説明が終わりました。

質疑ありますか。

窪之内 メンバーそれぞれが悪いというわけではないのですけれども、駅をよく利用する人、利用者というふうにして考えると、高校生の汽車通学利用がありまして、斬新なデザインとか、そういうような発想とかということであれば、やっぱり若い方の発想とかも視野に入れる必要があったのではないかなと私は思っていて、このメンバーだけを見ると、何かかた苦しいところから抜け出せないような気持ちもしているのですが、こういうメンバーがそういう意見も取り入れてやっていく、そういう会議なのだというふうに理解すればいいのかなと思うのですが、その点についてはいかがでしょうか。

千葉室長 ここでの委員さんには、設計をゼロからつくり上げるという部分ではなくて、ある程度私どもがつくり上げたものについて、いろいろご意見をいただきながら形にしていくということで考えてございます。

窪之内 それならなおさらのこと、発想の転換とか、これからの将来を考えたりするときに、メンバーとそういう一定の原案ができたところに意見だけという、そういうことだけ見ると、形だけつくって、原案が通ればいいというだけなのかなという気持ちになってしまうのです。だから、駅におりたときの本当のシンボリックなものをそこにつくろうとするのだったら、やっぱり原案であっても若い人たちに聞くとか、利用者に聞くとか、そういったことも必要だというふうに思うのですがいかがですか。

千葉室長 この駅前広場におきましては、全国的なルールというものもございますし、補

助の関係もございまして、ある程度制約がございます。この前段、バリアフリー等の形もありまして、市民の方のご意見をいただいている部分もございます。最終的には補助の中という部分もございまして、ある程度制約があるということになってございますので、ゼロからつくり上げるというのはちょっと難しい事業というふうになっているところでございます。

委員長
副委員長

ほかに質疑ございますか。

せっかく何十年かぶりで駅前再開発の関係でやる工事なので、今の駅の形や何かは、僕らはこの前のときの委員会で示されておりますけれども、やっぱりそれ以外の部分で汽車で駅前におりたらどうなのだという景観の問題だと思うのですけれども、今窪之内委員も言われたように、悔いの残らないようなものになるような形で、基本設計でドームの形や何かはいじれないのだけれども、例えば立ち木1本だとか看板1つにしても、後世に残ることになるように内部の考え方一つだと思うのですけれども、内部でそんなような心構えはできているのかどうかだけお伺いしておきます。

千葉室長

その辺に関しましては、私どもも約30年ぶりの駅前広場の造成ということもございまして、今までの経過もございまして、その辺は、十分意識した中で取り進めていきたいというふうに考えております。

委員長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

2. その他について

委員長

2、その他について何かございますか。

五十嵐部長

駅前のスマイルビルについてでございますけれども、既に新聞で報道されておりますが、2月22日金曜日に関係者が来庁されましたので、その際の内容につきまして情報提供したいというふうに考えております。

内容につきましては、ほとんどが既に新聞で報道された内容でありますことを先にお断りしたいと思います。当日、来庁された方につきましては、駅前再開発ビル株式会社の南崎社長と中西取締役、それと仲介した株式会社微量元素研究所の山形所長、相手方につきましては、新聞報道ではATAGOフィナンシャルグループというようなことも書いておりましたが、当日名刺交換した名刺には一般社団法人環境技術振興協会常任理事の森田氏と同菱沼氏ほか1名が来庁されました。対応につきましては、私以下で対応をしました。

冒頭、南崎社長から株主のほとんどの方の了解を得て、さらにテナントの皆さんにも説明し、了解をいただいたので、2月28日に株式譲渡契約を結ぶ予定であると、それを前提に挨拶に来たとの説明がなされたところでございます。しかしながら、きょう現在におきまして株式譲渡が行われたかどうかは確認できておりません。細部の調整で時間がかかっているようなことを聞いております。株式購入者につきましては、森田氏ということでございました。しかしながら、事業承継後改めてグループで適切なところに任意売却する予定とのことで現在調整中とのことです。その任意売却先につきましては、この後ビルの活用について若干お話しさせていただきますけれども、そういったビルの活用に応じて任意売却先を決めたいというようなお話でした。

それで、ビルの活用でございまして、現在入っているテナントにつきましてはこれまでと同様の条件で継続をし、新たな事業として北海道における小型風力

発電機の販売拠点に考えているとのことでした。2月27日から3月1日まで東京ビッグサイトで開催されましたWIND EXPOに球体型で3枚羽根の新しい形状の風を受けるものを出展しているそうでございまして、ホームページで確認したところ、確かに出展をしておりました。こいのぼりのてっぺんについているような球状のものを出展しておりました。これをビルの屋上に最大20基の設置を予定していると。3階の空きスペースには、事務部門と関連会社などのオフィスを誘致したい、地下の空きスペースでは将来的に小型風力発電機の組み立てに使いたいというようなことでもございました。当日は、こういったお話をお聞きしました。それで、今後につきましては、推移を見守りながら適切に対応していきたいということで考えております。

以上でございます。

委員長
窪之内

質疑ございますか。

向こうのほうからそういう売却とかということに当たって、固定資産税のこと等についての意向とかということは何か話されていたのか、それについてまずお伺いいたします。

五十嵐部長

当日は、経済部で対応させていただきましたので、税の関係のお話はさせていただいておりません。

窪之内

推移を見守るということだったのですが、法的とかいろんな手続上からいって滝川市がどういう立場にあつて、推移を見守るということはどういうことなのかということがよくわからないのですが、床面積も一部持っていますよね。そういうこととの関係で株主譲渡契約とか、いろんなことにどう市がかかわってくるのかということがちょっとよくわからないのですが、お聞きいたします。

五十嵐部長

これは、駅前再開発ビル株式会社と駅前ビル管理株式会社、この2社の株式を買うということでございます。そのために民と民との話し合いで取引がされるということなものですから、それに対して市が何か口を挟むというようなことにはならないような状況になっております。

委員長
小野

ほかに質疑ございますか。

確認なのですが、風力の関係のものを扱うと、20基屋上にやると言っていましたよね。将来的にまだ決定でないと思いますが、下は組み立てに使うということは、工場的なものでしょう。許可になるのか、その辺をお伺いします。

五十嵐部長

これにつきましても、今は計画ということで、実現するかどうかはわかりませんが、都市計画的には商業地域でたしか150平米までのそういった組み立て等については許可されるというふうに、調べた中ではそういうふうになっております。

委員長
坂井

ほかに質疑ございますか。

株式譲渡という報告を受けたのですが、その過程の中でそれを任意売却して今後の活用を考えていきたいというような一般社団法人環境技術振興協会の森田さんがおっしゃったという話だったと思うのですが、そう言っているにもかかわらず、今後の活用として小型風力の事務所を設置したりとか、屋上にそういったものをつくったりとかということの整合性とか、第三者に譲渡を前提として株式を譲るのであれば、そういったこともできないのではないのかなというふうに、ちょっとよくわからない中で質疑しているのですが、その辺の説明をもうちょっと詳しくお願いいたします。

五十嵐部長

ちょっと説明が足りなかったかもしれませんが、当日の話の内容の中で、

一時的に森田さんが取得すると。その後の利用計画、先ほど話したとおり小型風力発電機の販売の拠点にしたいというお話で、グループ会社の中でその事業を行うのに適したところに株を譲渡するというようなことを話されておりました。

それと、先ほどの小野委員さんの質疑に対してちょっと追加したいと思いますけれども、仮にあそこのビルでそういった組み立てをする場合は、用途変更の手続が必要になってきますので、それで許可した中での事業ということになります。

委員 長
窪之内

ほかに質疑ございますか。

そういったものが屋上に仮に設置されたりするという場合に耐震的なことで見れば、問題ないということなのでしょう。

五十嵐部長

これからの事業ということなので、正確なことはお答えできませんけれども、先ほど申し上げたとおり小型風力発電機ということで、風を受ける羽根の部分は全長1メートルと2メートルという2つのタイプを今考えているようでございます。ですから、全体の大きさでも7メートルか10メートルとか、そういうお話をされておりましたので、あと建築物の上へ上げますので、当然そういった問題も出てきますけれども、それを設置する際にも恐らく建築確認が必要なのかと思われまいますので、その辺でチェックはできるはずでございます。

委員 長
坂 井

ほかに質疑ございますか。

一般社団法人環境技術振興協会との話の中で、ここの駅前再開発ビルという場所柄、滝川の中心市街地の活性化という観点から、この会社に対してそういったことも含めての市からのお願いといたしますか、開発をできればお願いしたいというような旨をこの話し合いでしたのかどうか。また、もししていないのであれば、今後そういったことを同社に対して申し入れる予定はあるのかどうかということに関してお伺いいたします。

五十嵐部長

当日の話の中では、当然駅前に位置しているということと、中心市街地活性化基本計画の中でも重要な位置を占めているというようなお話はさせていただいて、さらにはたきかわホールを市が区分所有している、さらには地下で「く・る・る」、「とんとん」も市のほうで運営をしているというようなお話をさせていただく中で重要なビルという認識を持っていただきたいと、そのためにいろんな形での活性化に協力をいただきたいというようなお話はさせていただきました。

坂 井
五十嵐部長

それに対して、同社は前向きな発言があったのでしょうか。

市の運営につきましては、今までどおりの条件で考えているというようなお話がありまして、さらには活性化につきましては先ほどお話ししたとおり3階の空き店舗にはいろんな関係、グループの関係企業を中心にオフィスを誘致したいと、さらには風力を拠点として滝川の活性化にも尽くしたいというようなお話はありました。

委員 長

ほかに質疑ありませんか。

(なしの声あり)

委員 長

それでは、報告済みといたします。
委員の皆さんから何かありませんか。

(なしの声あり)

委員 長

事務局から何かありませんか。

(なしの声あり)

3. 次回委員会の日程について

委員 長

それでは、3、次回委員会の日程についてですが、正副委員長にご一任願えますか。

(異議なしの声あり)

委員 長

以上をもちまして第22回経済建設常任委員会を閉会いたします。
ご苦労さまでした。

閉 会 14 : 15